

しかはま自然観察会

のらえもん

『人も 自然も みんなともだち !』No.19

代表責任者

古高 利男

☎270-1132

我孫子市湖北台 2-14-7

☎090-7275-9890

2014, 2, 22 (土)

第19回活動「バードウォッチング in 渡良瀬遊水地」

・・・どんな野鳥がいたのだろうか？

・・・どんな場所だったのだろうか？

1, 日 時：2014年2月22(土)快晴

2, 場 所：渡良瀬遊水地

3, 交 通：電車、自家用車

4, 参加者：家族 4 内訳 大人 3

小学生 5

幼児 2

合 計 10

スタッフ 3 総計 13

5, 活動の様子

- 「風が強く、寒いよ！」と驚かされてきた。が、なんと、快晴で風が弱い。暖かく、最高の鳥見日和！
その上、日光の山々や筑波山が見え、すばらしい情景をプレゼントしていただいた！！
- 電車組は山口・栗原・春日・梅川・古高、自家用車組は梅北・斉藤、の13名で、初めて渡良瀬遊水地を歩く。
- 駅から坂道を登って行くと、大谷石でつくられた「わたらせ自然館」がある。まるで倉庫のようだ。ここに寄り、情報収集とトイレを借りた。学芸員の方はとても親切に説明してくれた。近くに、レンタサイクルもあるので、その利用も考慮すると、活動が広がりそうだ。
- 遊水地に着くと、水はほとんどない。「どうしたのかな？」とっていると、「水のカビ臭を取り除くため」という表示がでていた。ここで貯められた水は、下流都市の水道水として使われているためだ。
わずかに残っている水辺にはたくさんの冬鳥が休んでいた。
- 水辺には、たくさんのタニシの死骸があった。それを見つけて、子どもたちははしゃぎまくっている。黒いカラスガイの破片や赤くなったヌマエビの死骸も見つけてきては「これ、何？」と聞いてくる。さらに、大きな魚の骨を集めている。子どもたちは何にでも興味をもって、集めたり質問したりする。
このような場が、そうさせているのだろう。
今日のテーマである冬鳥には、あまり興味はなさそうだった。
- 大人は、双眼鏡やフィールドスコープを持って鳥を探している。「あの、白い鳥は、なに？」「今、飛んできやのは？」「カラスが、死んだ魚をたべている！」などと勝手に話している。そして、それを聞いた人が勝手に応えている。
冬鳥までの距離が遠くて、スコープでも明瞭に捕らえられなかった。

○それにしても、ここは広い！いくら歩いても、見える建物になかなか近づかない。それもそのはず、「谷中村」という一つの村を全部潰して、このような遊水地にしたのだから・・・。

なぜ潰されたのか？足尾銅山から流れてくる鉱毒を、ここに沈殿させようというねらいがあったようだ。渡良瀬川流域すべてに鉱毒の被害はあったのだが・・・。それまでは、サケ・マス・ウナギ・鯉・雑魚などがたくさん捕れ、豊かな漁場であった。が、鉱毒が流れ始めてからは魚が死に、流域住民にも健康被害が発生したという。

鉱毒被害をなくそうと奔走したのが「田中正造」だ。この渡瀬遊水地を歩くなら、ぜひとも田中正造についても学んで欲しい。

冬鳥がのんびり休んでいる遊水地と筑波山・日光連山・富士山まで見える風景の陰には、足尾鉱毒に苦しんだ上に村を滅亡させられた村民と田中正造の魂が生き続けている。

一度は訪れてみたい、おすすめのフィールドだ。

○ラムサール条約登録地となり、現在は新しい利用の仕方が模索されている。

○3月15（土）は、ヨシ焼きです。ここのヨシ焼きは有名です。多くのカメラマンがやってくる。

ヨシ焼きは、植生の回復が目的です。利用するヨシ以外を、そのままにしておくと他の植物が生長できません。ヨシを焼くことで空間を作り出してやります。すると、太陽を浴びた土からは様々な植物が芽生えてきます。ヨシが大きくなるまでに花を咲かせ実をつけることを終わらせるのです。ヨシが大きくなり太陽が当たらなくなると、休眠に入ります。

○観察できた野鳥

*畑やヨシ原・・・ハクセキレイ、ツグミ、ムクドリ、ヒヨドリ、
ハシブトガラス（死んだ魚を食べていた）、
シジュウガラ、モズ、トビ

*遊水地・・・かも類（コガモを中心に300羽ぐらい）
アオサギ、ダイサギ、カワウ、
カモメ（死んだ魚を食べていた）
カンムリカイツブリ

6, 親と子のいきいき感想

○今日のバードウォッチングでは、楽しかったです。なぜなら、いろいろな鳥がいたからです。また、行きたいです。

やちょうとり ハクセキレイが きれいだよ

栗原北小5年

*きょうは、かいがらをひろったことが、たのしかったです。すずめをみて、たのしかったです。

清水保育園年中

○つかれた。

鹿浜西小1年

*遊水地には水はなかった。池も大きすぎて、鳥はいっぱいいたけど、見えなかった。柳が芽吹いてきて、あたたかい気持ちになれた。ヨシと茅の違いがわかった。

父